

亀さん通信



紅葉の季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか！

亀のように歩みは遅くとも、『お金力』をしっかりと・確実に身に付けていただく【亀さん通信】第 145 号の発信！

ギャンブルで飯が食えるのか？

「ギャンブルに必勝法はあるのか？」と質問されたら私ならこう答えます。「残念ながら必勝法はありません。世に存在する必勝法のうち、ひとつでも正しければギャンブル産業は崩壊するはずですが、今のところ大丈夫そうですから」と。しかしながら、相も変わらず多くの必勝法が「これぞ絶対！」と出回っています。今回は、ギャンブルを FP 的に考えてみます。

ギャンブルにおける重要な概念として、「期待値」と「控除率」というものがあります。「期待値」とは、賭け金に対し、**手元に戻ってくる金額の平均の割合**で、1万円賭けて、平均して9,000円戻ってくるとすれば、期待値は90%ということになります。

「控除率」とは、賭け金に対し、**胴元側が取る金額の平均の割合**で、先の例でいえば、1,000円で10%になります。早い話が、控除率とは親（胴元）が取るテラ銭のこと。それではギャンブルの期待値を見てみましょう。

ゲーム	期待値	控除率	1万円賭ける度に負ける平均値
宝くじ	47%	53%	5,300円
公営競技（競馬など）	75%	25%	2,500円
パチンコ	97%	3%	300円

宝くじの期待値は論外で、1万円賭ける度に**5,000円以上をドブに捨てている**ようなもの。賭け金の半分以上を胴元が取っていくギャンブルは世界でも珍しく、はっきり言ってとんでもないレベル。しかも2%程度の賞金が換金されないため、胴元の取り分はさらに多くなります。公営競争もひどいものです。国民に賭けごとを禁止しておきながら、自ら胴元になって独占し、**25%もの控除を取っていく**神経はヤクザまがい。それに比べて、公式にはギャンブルと定義されていないものの、実質上はギャンブル以外の何物でもないパチンコは薄利多売。この絶妙な期待値が**多くの人をひきつける**のです。

ギャンブルで儲け続けるには、**期待値を100%以上に**することが条件。つまりテラ銭分を取り戻し、さらに利益を上積みする必要があります。しかし、その実現には「**大数の法則**」という大きな壁が立ちはだかります。「大数の法則」とは、一つ一つの事象や、短期間での一連の事象においては、どんなに不思議と思われることが起こりえたとしても、十分に大きな回数行われる事象については、より理論上**正確な予想値に収束していく**というもの。この法則はギャンブルの世界に疑いなく成立する**絶対の法則**であり、決して誰も逃げられません。コイン投げをすれば、回数が大きくなるほど、表と裏がでる確率は限りなく50%に近づいていくように、競馬も75%に収束していきます。それ故、短期的には勝てるかもしれませんが、やはり**長期的に見ると必勝法は存在しません**。ただし、ギャンブルによっては、ごくまれな例外があります。しかし、その秘密をたかだか数万円や数十万円で他人に教えるでしょうか。その答えはみなさんのご判断にお任せします。

私は人がギャンブルに興じることに否定的な意見を持っていません。今でこそ手を出しませんが、若かりし頃は一通り経験しました。もちろん相応の損失を被りましたが、今では勉強代だったと割り切っています。世の中には自分の思い通りにいかない物事が多々あると実感でき、人間的に成長できたと思っています。ただし、FP的に考えれば、ギャンブルに必勝法、即ち**勝利の聖杯は存在しない**ということです。**世の中に絶対などない**と認識していれば、もう悪徳業者のカモにされることはないでしょう。

私は読書の秋ですが、みなさんは？

(株)亀山保険事務所 亀山裕弘 (ミフル) 1級ファイナンシャル・プランニング 技能士 0575-28-2768 info@kameyama-hoken.com